

大使挨拶

皆さん、こんばんは。駐ブラジル日本国大使の林禎二です。

本日は”Gestão de desastres: diálogos entre Brasil e Japão”にご招待いただきありがとうございます。ABRAEXのOgib会長をはじめ、本イベントの開催を準備された全ての関係者に感謝申し上げます。

まず、最近のブラジル各地における甚大な洪水、土砂くずれ等の被災者の方々に対して心よりお見舞いを申し上げます。日本でも近年は集中豪雨や台風の大化が見られるところ、日本国民を代表して連帯の意を表したいと思います。

日本は、その自然条件から、地震・台風・豪雨・火山噴火など、さまざまな災害が場所を問わず発生してきました。このため、防災を国の最重要課題の一つに位置付け、平時には国土強靱化に向けた防災戦略の立案や防災インフラの整備、災害発生時には全力を挙げて応急対応・復旧・復興に取り組んでおり、これらの取組を通じ、防災に関する多くの知見・技術を積み重ねています。

近年では、ブラジルにおいても、気候変動の影響に伴い豪雨災害が頻発化・激甚化しています。さらに、ブラジルでは災害リスクの高いエリアにおける居住が拡大していることから、適切な防災対策が必要です。

これらを踏まえ、日本は、防災分野で培ってきた知見・技術をブラジルへ共有するため、ブラジルに対し様々な協力を実施しています。現在では、日本の防災技術の専門家を伯地域開発省へ派遣し、土砂災害対策構造物の設計・施工や技術指針作成の支援を行っています。

本日のセミナーを通じ、日本の防災分野における取り組みについて理解を深めていただけましたら幸いです。日本としましては、引き続きブラジルの防災能力の強化に貢献できればと考えております。大使館に協力できることがありましたら、いつでもご連絡ください。

最後に皆様の更なる御活躍を祈念し、私の挨拶としたいと思います。ありがとうございました。